

中国胡弓と揚琴 ～ 桜花縁 ～

日時： 4月2日(土) 18:30～19:30

会場： 東京富士美術館

出演： 王霄峰(胡弓)
張林(揚琴)



内容： 中国悠久ロマンの曲や日本の曲、日中友好の“友誼の桜”を描いた曲など、親しみやすい曲を演奏します。詩情溢れる音色を堪能ください。

曲目： 喜洋洋、早春賦、山歌調、空山鳥語、春到湘江、新婚の別れ、花、草競馬、桜花縁



胡弓 王霄峰 (ワン シャオフォン)

中国北京市生まれ。6歳より、中国東方歌舞団・首席胡弓奏者で、国家第一級胡弓奏者である父・王全忠に胡弓を学び、後に北京中央音楽院 教授 張韶氏に師事。1987年来日。千葉大学文学部行動科学科(東洋哲学専攻)卒業。その後、ホテルグリンタワー幕張に勤務。2000年に本格的なソロ活動を開始し、これまでリサイタルを中心に演奏活動を行っている。

中国胡弓の伝統的演奏を重視するとともに、日本の曲、西洋の曲などの演奏も積極的に手がけ、その透明な音色は多くの人々を魅了している。

また、他分野とのコラボレーションも積極的に行い、上田遥によるコンテンポラリーダンスでは、雅楽の東儀秀樹、バレエダンサーの高部尚子、島田衣子、白石貴之らとともに舞台上で演奏、そしてダンスを行う。能舞台では、重要無形文化財総合指定能楽師・松山隆雄、能管の一噌幸弘らとともに新作能を制作、発表。

2001年には、東京の国立能楽堂、横浜能楽堂での史上初の胡弓演奏を行い、好評を博した。また作曲も手がけ、2002年～2003年、協和発酵のテレビCM音楽を担当。2003年12月に三枚目のアルバム「河神(かしん)」をリリース。

2000年から開始された「胡弓来舞」と題するリサイタルは、毎回多彩な共演者と共に、2004年9月の東京文化会館での演奏会で5回目を迎えた。後進の育成のため、朝日カルチャーセンター、NHK文化センターほか、各地で胡弓教室を開講し、日本における胡弓の普及に貢献している。



揚琴 張林 (ちょうりん)

中国洛陽生まれ、五歳より揚琴を学び、十一歳より北京中央音楽院附属中学に入学。1837年北京中央音楽学院卒業後、中国国立中央歌舞団に入団、揚琴首席奏者に就任。89年来日、東京学芸大学大学院に入学。在学中より、数多くのコンサートの出演や、リサイタルの開催など、日本各地において積極的に演奏活動を行う。

93年10月、ソニーミュージックよりソロアルバム「中国の美音 - 揚琴」をリリースし、同年ステレオマガジンの年間最優秀録音特別賞受賞。

94年、東京及び京都においてCD発売コンサートを行う。その折りのコンサートの模様はテレビ朝日のニュース番組に取り上げられ、全国に放送された。

また、アジアファンタジ音楽祭に出演するほか、アジア最大の音楽祭パシフィックミュージックフェスティバルや、2000年夏カナダのケベックで行われたケベックサマーフェスティバルにも出演。

現在、日本や、アメリカ大陸において音楽活動を展開している。

東京富士美術館 サタデー・コンサート